

名古屋市が配布した資料

天守閣木造復元にかかるお金等について

優秀提案に示された概算事業費(建設費・設計費)505億円を基に収支計画を試算しました。運営管理費も含めた総事業費については、市債を発行するなど財源を確保し、全額、入場料収入で返済します。

今回の収支計画を試算するにあたり、入場料については、市民450円、市民以外1,000円と設定しました。

市民については、「名古屋城は長年にわたり市民に支えられてきた施設ですが、来場者の中で市民の占める割合が少なく市民に配慮する必要がある」、「戦略的なシティプロモーションの一環として、市民に名古屋城の魅力を情報発信する役割を担ってもらうことなどから特別料金を設定しています。なお、入場料の変更には、条例の改正が必要です。

■収支計画 (期間:平成28年度～平成81年度) 名古屋城入場料(竣工後)：市民450円 市民以外1,000円／現行500円

収 入			支 出		
事 項	金額(億円)	積 算	事 項	金額(億円)	積 算
入場料収入	979	名古屋城全体の 入場料収入のうち、 75%を天守閣に充当 H32(8カ月) 約18億円 (入場者331万人) H33 約24億円 (入場者446万人) H34 約22億円 (入場者401万人) H35以降 約19億円 (入場者360万人)	建設費 (利子含む)	606	元金：約505億円 利子：約101億円
			運営管理費	276	H26年度の実績に基づき算出 H28～31年度(天守閣閉鎖中) 各年度平均約1億円 H32～81年度 各年度平均約5億円
			集客促進費	2	木造復元にかかる周年事業
			修 繕 費	31	平成81年度までの必要額
			基金積立	64	支出を上回る収入について 基金積立
計	979		計	979	

※収支計画は、起債の償還期間終了までの平成28～81年度で作成しています。※起債の発行年率や年次割等は、直近の実績などを参考に一定の条件で算出しています。(年率0.665%、40年償還、20年債1回借換など)

7 名古屋城の入場者数見込み

年度	入場者数	前年度比	増加要因	減少要因
27	174	% —		
28	180 (197)	103	・天守閣開鎖に伴う観 け込み需要 ・本丸御殿第2期公開	天守閣開鎖
29	90 (98)	50		
30	160 (174)	178	・天守閣木造復元工事 見学施設完成 ・金シャチ横丁第1期 開業 ・本丸御殿全面公開	天守閣開鎖中
31	160 (174)	100	展示収蔵施設完成	
32	384 (418)	240	天守閣木造復元	
33	446 (485)	116		
34	401 (437)	90		ブームの縮小
35	360 (393)	90		
36 ～ 81	360 (393)	100		

注1 ()書きは入場者数の最大見込みの数

2 平成27年度は連邦値

8 天守閣木造復元整備にかかる財源フレーム（案）

(1) 総事業費及び財源内訳

(単位：百万円)

区 分	金 額	内 容
総事業費	50,500	・基本設計、実施設計 ・仮設工事、解体工事、本体工事、石垣工事
財源内訳 起債	50,500	・観光その他事業債（充当率100%） ・収支相償する事業であることを確認するため、償還期間における収支計画を策定 ・天守閣にかかる収支を明確にするため、特別会計を設置

(2) 平成28～81年度の収支計画

ア 前提条件

区 分	内 容									
起債	発行方法 全国型市場公募債 償還期間40年（20年公募債、借換1回）									
	基金積立 当初4年据置 每年3% 借換4年据置 每年6%									
	償還利率 年0.665%（平成28年2月兵庫県発行実績）									
	年次割（出来高） 28、29年度 各5% 30、31年度 各3.0% 32年度 1.5% 33～36年度 各2% 37～40年度 各1% 41年度 3%									
使用料	天守閣を整備するため、収支計画において、入場料を以下のとおりとした。ただし、市民については特別料金を設定する <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>現 行</th> <th>平成32年8月以降</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市 民</td> <td>500円</td> <td>450円</td> </tr> <tr> <td>市民以外</td> <td>500円</td> <td>1,000円</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	現 行	平成32年8月以降	市 民	500円	450円	市民以外	500円	1,000円
区 分	現 行	平成32年8月以降								
市 民	500円	450円								
市民以外	500円	1,000円								
補助金 国及び県に対し要望をしていくが、現時点で確定的な収入見込額が算出できないため、計上せず										
寄附金	市民や企業等に対し広く寄附募集を募っていくが、現時点で確定的な収入見込額が算出できないため、計上せず									

イ 収入

(単位：百万円)

区 分	金 額	積算の考え方
使用料	97,928	<ul style="list-style-type: none"> 名古屋城全体の入場料収入のうち、75%を天守閣に充当 平成32年度（8か月） 1,791百万円（331万人分） 平成33年度 2,413百万円（446万人分） 平成34年度 2,170百万円（401万人分） 平成35年度以降 1,948百万円（360万人分）

ウ 支出

(単位：百万円)

区 分	金 額	積算の考え方
公債償還金	60,567	<ul style="list-style-type: none"> 元金 50,500百万円 利子 10,067百万円
運営管理費	27,645	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年度実績に基づき算出 平成28～31年度（天守閣閉鎖中） 各年度平均約114百万円を計上 平成32～81年度 各年度平均約544百万円を計上
集客促進費	200	木造復元にかかる周年事業
修繕費	3,086	平成81年度までの必要額
基金積立	6,430	支出を上回る収入について基金積立
計	97,928	

注 「運営管理費」については、効率的・効果的な運営や民間活力の活用を進めることにより、さらなる経費削減に努める

天守閣の木造復元 「名古屋市案」を検証する

問題点は3つ

- ① 事業計画が50年という長きにわたる(孫の代まで借財を残すつもりか！)
- ②「入場者360万人」を前提にしている(捕らぬ狸の皮算用ではないか！)
- ③地震が来て崩壊したら、修復にまたオカネが要る。

この資料は、名古屋市が市議会に提出した資料を元に、
北見昌朗が作成し直した。
わかりやすくするために、修正を加えたので、
数字が異なる部分があることをご理解いただきたい。

A	B	C	あ	い	う	え	あいうえお	C-お					
a*b*0.75													
平均単価721円													
入場者数 単位100万円													
万人	入場料収入	うち天守閣収入	平成	西暦	金利	運営費	集客促進費	修繕費	支出合計	利益	利益率	累計利益	
446	3,217	2,413	1	39	2,027	201	544	4	62	811	1,602	66%	1,602
446	3,217	2,413	2	40	2,028	201	544	4	62	811	1,602	66%	3,204
401	2,893	2,170	3	41	2,029	201	544	4	62	811	1,359	63%	4,563
360	2,597	1,948	4	42	2,030	201	544	4	62	811	1,137	58%	5,700
360	2,597	1,948	5	43	2,031	201	544	4	62	811	1,137	58%	6,837
360	2,597	1,948	6	44	2,032	201	544	4	62	811	1,137	58%	7,974
360	2,597	1,948	7	45	2,033	201	544	4	62	811	1,137	58%	9,111
360	2,597	1,948	8	46	2,034	201	544	4	62	811	1,137	58%	10,248
360	2,597	1,948	9	47	2,035	201	544	4	62	811	1,137	58%	11,384
360	2,597	1,948	10	48	2,036	201	544	4	62	811	1,137	58%	12,521
360	2,597	1,948	11	49	2,037	201	544	4	62	811	1,137	58%	13,658
360	2,597	1,948	12	50	2,038	201	544	4	62	811	1,137	58%	14,795
360	2,597	1,948	13	51	2,039	201	544	4	62	811	1,137	58%	15,932
360	2,597	1,948	14	52	2,040	201	544	4	62	811	1,137	58%	17,069
360	2,597	1,948	15	53	2,041	201	544	4	62	811	1,137	58%	18,206
360	2,597	1,948	16	54	2,042	201	544	4	62	811	1,137	58%	19,343
360	2,597	1,948	17	55	2,043	201	544	4	62	811	1,137	58%	20,480
360	2,597	1,948	18	56	2,044	201	544	4	62	811	1,137	58%	21,617
360	2,597	1,948	19	57	2,045	201	544	4	62	811	1,137	58%	22,754
360	2,597	1,948	20	58	2,046	201	544	4	62	811	1,137	58%	23,891
360	2,597	1,948	21	59	2,047	201	544	4	62	811	1,137	58%	25,028
360	2,597	1,948	22	60	2,048	201	544	4	62	811	1,137	58%	26,165
360	2,597	1,948	23	61	2,049	201	544	4	62	811	1,137	58%	27,302
360	2,597	1,948	24	62	2,050	201	544	4	62	811	1,137	58%	28,439
360	2,597	1,948	25	63	2,051	201	544	4	62	811	1,137	58%	29,576
360	2,597	1,948	26	64	2,052	201	544	4	62	811	1,137	58%	30,712
360	2,597	1,948	27	65	2,053	201	544	4	62	811	1,137	58%	31,849
360	2,597	1,948	28	66	2,054	201	544	4	62	811	1,137	58%	32,986
360	2,597	1,948	29	67	2,055	201	544	4	62	811	1,137	58%	34,123
360	2,597	1,948	30	68	2,056	201	544	4	62	811	1,137	58%	35,260
360	2,597	1,948	31	69	2,057	201	544	4	62	811	1,137	58%	36,397
360	2,597	1,948	32	70	2,058	201	544	4	62	811	1,137	58%	37,534
360	2,597	1,948	33	71	2,059	201	544	4	62	811	1,137	58%	38,671
360	2,597	1,948	34	72	2,060	201	544	4	62	811	1,137	58%	39,808
360	2,597	1,948	35	73	2,061	201	544	4	62	811	1,137	58%	40,945
360	2,597	1,948	36	74	2,062	201	544	4	62	811	1,137	58%	42,082
360	2,597	1,948	37	75	2,063	201	544	4	62	811	1,137	58%	43,219
360	2,597	1,948	38	76	2,064	201	544	4	62	811	1,137	58%	44,356
360	2,597	1,948	39	77	2,065	201	544	4	62	811	1,137	58%	45,493
360	2,597	1,948	40	78	2,066	201	544	4	62	811	1,137	58%	46,630
360	2,597	1,948	41	79	2,067	201	544	4	62	811	1,137	58%	47,767
360	2,597	1,948	42	80	2,068	201	544	4	62	811	1,137	58%	48,903
360	2,597	1,948	43	81	2,069	201	544	4	62	811	1,137	58%	50,040

もし、260万人しか入場者が来なかつたら、50年後に180億円の借財が残つてしまふ。

「入場料収入の75%を、天守閣に充てる」ことになっている。現在のところ、入場者は、市内1割、市外9割という構成になっている。現在は、500円となっているが「市内450円、市外1000円としたい」という。

無料で入場する人もいるので、左記の表は、一定の比率を乗じて、
1人あたり単価を算出した。@721円
平成27年の入場者は174万人

「過去の他の城郭の事例をみると、360万人まで増えることが期待される」としているが、特に根拠はない。

「補助金および寄付金は、予測不明なので計上していない」としている。

「建設費505億円を起債により調達する」「40年返済
固定金利0.6% 満期一括返済」

「何回かに分けて起債するので、最終的には50年後に返済が完了する」

「運営管理費544百万円は、更なる経費節減に努める」としている
「集客促進費200百万円は、数回に分けてイベントを行う」としている。



ここで投資を回収

「楽観的に構想し、
悲観的に計画し、
楽観的に実行する」

(稻盛和夫「生き方」より)

市民が集う！『名古屋城ランド』構想



名称の変更:「名古屋城」を「名古屋城ランド」に変更する。

大辞林 第三版の解説

ランド【land】

①国。土地。

②遊園地や娯楽施設。「レジャーランド」

営業時間:民間のレジャーランド並みに延長する。

東京ディズニーランド

8:00 ~ 22:00



世界最高を、
お届けしたい。

7月23日の営業時間8:30~21:00

各エリアの性格付けを行う:

以下、思い付きの一例

本丸→「ナルホド！ 名古屋の歴史と文化を学ぶエリア」に。中に展示物を並べる。図書館を作る。講習会を開く。

西之丸→「ワイガヤの西之丸エリア」に。飲食店を誘致する

御深井丸→「キャッキヤの御深井丸エリア」。子供の遊び場にする。火縄銃体験とか、籠体験コーナーも。

二之丸→現庭園部分 「ズンドコの二之丸エリア」。コンサートを開けるようにする。

「ハイ！ ポーズのコスプレ エリア」に。

現体育馆部分 「二之丸御殿」を建てる

「260万人の入場料+寄付金+地代+広告代」で約30年返済:【A案】

この資料は、名古屋市が市議会に提出した資料を元に、北見昌朗が作成し直した。
わかりやすくするために、修正を加えたので、
数字が異なる部分があることをご理解いただきたい。

A B C
平均単価 721 円

あ い う え お あいうえ
か C-か

年次	平成	西暦	通年平均(単位100万円)					
			金利	運営費	業各促進費	修繕費	投資	支出合計
1	39	2,027	201	544	4	62	132	943
2	40	2,028	201	544	4	62	132	943
3	41	2,029	201	544	4	62	123	935
4	42	2,030	201	544	4	62	115	926
5	43	2,031	201	544	4	62	115	926
6	44	2,032	201	544	4	62	115	926
7	45	2,033	201	544	4	62	115	926
8	46	2,034	201	544	4	62	115	926
9	47	2,035	201	544	4	62	115	926
10	48	2,036	201	544	4	62	115	926
11	49	2,037	201	544	4	62	115	926
12	50	2,038	201	544	4	62	115	926
13	51	2,039	201	544	4	62	115	926
14	52	2,040	201	544	4	62	115	926
15	53	2,041	201	544	4	62	115	926
16	54	2,042	201	544	4	62	115	926
17	55	2,043	201	544	4	62	115	926
18	56	2,044	201	544	4	62	115	926
19	57	2,045	201	544	4	62	115	926
20	58	2,046	201	544	4	62	115	926
21	59	2,047	201	544	4	62	115	926
22	60	2,048	201	544	4	62	115	926
23	61	2,049	201	544	4	62	115	926
24	62	2,050	201	544	4	62	115	926
25	63	2,051	201	544	4	62	115	926
26	64	2,052	201	544	4	62	115	926
27	65	2,053	201	544	4	62	115	926
28	66	2,054	201	544	4	62	115	926
29	67	2,055	201	544	4	62	115	926

单位100万		
利益勘定	同 利益率	累計 利益
11,502	92%	11,502
1,702	64%	13,203
1,534	62%	14,738
1,382	60%	16,119
1,382	60%	17,501
1,382	60%	18,883
1,382	60%	20,265
1,382	60%	21,647
1,382	60%	23,029
1,382	60%	24,411
1,382	60%	25,793
1,382	60%	27,175
1,382	60%	28,557
1,382	60%	29,939
1,382	60%	31,321
1,382	60%	32,703
1,382	60%	34,085
1,382	60%	35,467
1,382	60%	36,849
1,382	60%	38,231
1,382	60%	39,613
1,382	60%	40,995
1,382	60%	42,377
1,382	60%	43,759
1,382	60%	45,141
1,382	60%	46,523
1,382	60%	47,904
1,382	60%	49,286
1,382	60%	50,668

【試算の前提】

- ①「入場料収入の75%を、天守閣に充てる」ことになっている。
現在のところ、入場者は、市内1割、市外9割という構成になっている。現在は、500円となっているが「市内450円、市外1000円」としたい」という。
無料で入場する人もいるので、左の表は、一定の比率を乗じて、1人あたり単価を算出した。
@721円
平成27年の入場者は174万人

②「過去の他の城郭の事例をみると、360万人まで増えることが期待される」としているが、特に根拠はないので現状5割増260万人とした。

③「補助金および寄付金は、予測不明なので計上していない」としているが目標額を設定した。

④「建設費505億円を起債により調達する」「40年返済 固定金利0.6% 満期一括返済」「何回かに分けて起債するので、最終的には50年後に返済が完了する」はそのままとした。

⑤「運営管理費544百万円は、更なる経費節減に努める」としているのでそのままとした。

⑥「集客促進費200百万円は、数回に分けてイベントを行う」としているがそのままとした。

⑦「投資」は天守閣収入の5%を計上した。
商品力アップおよび集客PRに関する出費である。
テーマパークとして不可欠な出費だと考える。
名古屋私案には、そのような「投資」は含まれていない。



「260万人の入場料+寄付金+地代+広告代+ふるさと納税」で約10年返済:【B案】

A+A'	A	A'	A*721	B*0.75	A'*5000	B' ~ C4	あ	い	う	え	お	か	D-か								
入場内訳			平均単価(円)				通年平均(単位100万)														
(万人)	82%	18%	721	75%	5,000		通年平均(単位100万)														
総入場者	一般入場	ふるさと納税入場	入場料収入	うち天守閣収入	ふるさと納税	寄付金	地代	広告代	天守閣総収入												
323	265	58	1,910	1,432	2,907	10,000	600	100	15,039	1	39	2,027	201	544	4	62	262	1,073	13,966	93%	13,966
323	265	58	1,910	1,432	2,907	200	600	100	5,239	2	40	2,028	201	544	4	62	262	1,073	4,166	80%	18,132
290	238	52	1,715	1,286	2,610	200	600	100	4,796	3	41	2,029	201	544	4	62	240	1,051	3,745	78%	21,877
260	213	47	1,537	1,153	2,340	200	600	100	4,393	4	42	2,030	201	544	4	62	220	1,031	3,362	77%	25,240
260	213	47	1,537	1,153	2,340	200	600	100	4,393	5	43	2,031	201	544	4	62	220	1,031	3,362	77%	28,602
260	213	47	1,537	1,153	2,340	200	600	100	4,393	6	44	2,032	201	544	4	62	220	1,031	3,362	77%	31,964
260	213	47	1,537	1,153	2,340	200	600	100	4,393	7	45	2,033	201	544	4	62	220	1,031	3,362	77%	35,326
260	213	47	1,537	1,153	2,340	200	600	100	4,393	8	46	2,034	201	544	4	62	220	1,031	3,362	77%	38,688
260	213	47	1,537	1,153	2,340	200	600	100	4,393	9	47	2,035	201	544	4	62	220	1,031	3,362	77%	42,051
260	213	47	1,537	1,153	2,340	200	600	100	4,393	10	48	2,036	201	544	4	62	220	1,031	3,362	77%	45,413
260	213	47	1,537	1,153	2,340	200	600	100	4,393	11	49	2,037	201	544	4	62	220	1,031	3,362	77%	48,775
260	213	47	1,537	1,153	2,340	200	600	100	4,393	12	50	2,038	201	544	4	62	220	1,031	3,362	77%	52,137

天守閣完成後4年目(260万人)で安定するとした

ここで投資を回収

【ふるさと納税入場者の見積もり】

ふるさと納税で、1万円を寄付すると、名古屋市が5千円を天守閣のために活用できるようにする。
寄付者には、無料入場券と市内の飲食店で利用できる金券3千円分を差し上げる。

過去の入場者実績	170 万人
市内	10% 0
市外	90% 0

完成後の入場者は現状の5割増260万を維持できるような施策(投資)を講じ
市外入場者の 20% が“ふるさと納税入場者”と看做す⇒ 47 万人

ふるさと納税	¥10,000 うち天守閣収入引き当て
	50%



文責:北見式賃金研究所 北見昌朗 平成28年7月23日作成

名古屋城 世界遺産への道

第1段階 天守閣木造復元

第2段階 東北隅櫓復元

第3段階 馬出し 构形 復元

第4段階 二の丸御殿復元 (県体育館はどういてちょ~)



世界遺産登録を申請へ